

令和4年度北海道中学校体育大会 第52回北海道中学校バスケットボール大会 COVID-19 感染拡大予防ガイドラインについて(7月16日改)

大会事務局 大桃 悠輔

1. ガイドライン作成の基本的な考え方

本ガイドラインは、2022年7月29日(金)～31日(日)に行われる、「令和4年度 北海道中学校体育大会 第52回北海道中学校バスケットボール大会」に適用される。

『北海道中学校体育大会における新型コロナウイルス感染症に関わる参加等についての基本的な考え方について5月6日版』
『令和4年度全国中学校体育大会 第52回全国中学校バスケットボール大会 COVID-19 感染拡大予防ガイドライン』
『JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第5版(2022年5月12日版)』
『HBA 新型コロナウイルス感染症ガイドライン「第10号通知」(2022年5月31日版)』

上述のガイドラインに基づき、主催者が総合的に大会参加等を判断する。報告内容によっては、選手・チームに大会参加の自粛を勧告することもある。

2. 参加者が遵守すべき事項

- 大会に参加することへのリスク及び大会開催における感染症対策の周知、また選手本人に症状がある・同居家族に感染の疑いがある・チームメイトに感染の疑いがある場合は大会当日にて参加できなくなる可能性がある旨を十分に周知した上で、大会参加に関わる【別紙5】『同意書』を参加者の各家庭から所属学校へ提出すること。(学校保管)
- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。(大会前日・当日に書面で確認)
 - 体調がよくない(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)。
 - 新型コロナウイルス感染症と診断された者との濃厚接触がある。
 - 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる者がいる。
 - 参加者本人又は同居家族が海外から帰国又は再入国し、当該帰国者が検疫所から自宅待機を求められている。
- 試合に関わるすべての者(大会役員、審判、指導者、選手、観戦者、TO生徒)は、大会前後2週間分(計約4週間分)の体調を【別紙1】『健康管理表』に記録し、健康管理を徹底すること。
- 大会4日前からは、自チーム以外との交流・対外試合は行わない。ただし、合同チーム内での活動は行ってもよい。※7月25日(月)から交流・対外試合はできないものとする。
- マスクを持参・着用すること。
 - ※受付時や待機時、着替え時、会話時等の運動を行っていない際は着用
 - ※不織布以上の機能を有する規格品であること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 施設の他の利用者、施設管理者、大会役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。(介助が必要な場合を除く)
- 大きな声で会話や応援をしないこと。
- 感染防止のために施設管理者・主催者が定めた措置を遵守すること。
- 試合に関わるすべての者(大会役員、審判、指導者、選手、観戦者、TO生徒)は、大会前後2週間分(計約4週間分)の行動を、【別紙4】『行動履歴書』に記録し保管しておくこと。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

3. 選手、引率者、観戦者等および大会関係者の入場・受付に関すること

- 試合会場への入場は、ベンチメンバー（引率責任者 1 名、コーチ 1 名、A コーチ 1 名、マネージャー 1 名、選手 15 名）と登録外選手 10 名以内、チーム観戦者 15 名以内とする。（チーム観戦者において、未就学児は 1 名に含めない。小学生以上は 1 名に含むものとする。）ただし、特別な事情がある場合については大会主催者に問い合わせること。
※今大会は全試合を公式 YouTube チャンネルで動画配信するため、SNS による動画配信を認めない。
- 第 1 試合に出場するチームの受付時間は開場時間（8：00）とする。第 2 試合以降に出場するチームの受付時間は、試合開始時間の 1 時間 45 分前を原則とする。
- 入口に設置してある非接触型検温計で、必ず全員がその場で検温を受けること。高温を測定した場合には、接触型体温計で、再度検温する。
- 手指消毒をすること。
- 各校の引率者は、事前に【別紙 1】『健康管理表』を回収し、ひとりひとりのチェック項目および朝の体温を確認する。不備がある場合は、保護者への電話連絡等を行い、確実に対応する。【別紙 1】『健康管理表』の内容をもとに、【別紙 2】『監督・選手等の健康状態報告書』を 1 日ごとに会場受付に提出する。
- チーム観戦者の受付時間は、試合開始時間の 15 分前を原則とし、チームごとにまとめて入場する。
- チーム観戦者は【別紙 3】『来場者体調記録表』に必要事項を記入し、チーム観戦者代表は観戦者全員の『来場者体調記録表』を回収する。チーム観戦者代表は、『観戦者一覧表』とともに、回収した『来場者体調記録表』を受付に提出する。
※勝ち上がったチームにおいて、観戦者 15 名内で、試合毎に観戦者の入れ替わりがあっても構わないものとする。
※観戦者一覧表は試合毎に提出すること。
※前試合において、『来場者体調記録表』を提出している観戦者は、次の試合で『来場者体調記録表』を提出する必要はない。ただし、前試合において『来場者体調記録表』を提出している旨を『観戦者一覧表』に記載すること。
- 会場には、参加チームの選手及びスタッフ、派遣審判および大会役員・大会補助生徒・各チーム観戦者 15 名以内のみが出入りする
- 毎日受付をし、ID カードを常に着用すること。
- 貸し切りバスで参加する場合、バスが長く路上駐車し、交通の妨げにならないよう注意する。
- 会場を出る際、健康調査を行い、体調不良者がいないかを再確認する。

4. 出場チームへのお願い

○参加選手・スタッフ

- 他校との交流を控えること。
- チームで出たゴミはすべて持ち帰ること。※例年、弁当殻を置いていき、大会運営に支障をきたす場面が見受けられます。弁当柄の管理は特にお気を付けてください。
- ベンチや観覧席等、チームで使用した場所は責任をもって消毒を行うこと。
※試合後のベンチ消毒については、原則チーム責任者が行うこととする。
- 試合中の手指消毒および試合後のベンチ消毒について、消毒液は各チームで準備することを原則とする。

- 会場内で飲食する場合は、【黙食】【同じ方向を向く】【人数を分け最少人数で取る】ことを心がける。
- 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。
- 衣類は個人で管理し、タオルやボトルなどを共有しないこと。
- 仲間と手をつないだり、肩を組んだりして行う円陣やハイタッチ等は行わないこと。**

※選手のマスク着用については、原則マスク着用として、以下の表で場面を確認する。熱中症の危険がある場合は、選手の判断に任せるだけでなく、チーム責任者が指示を出し、熱中症防止に努めること。

| 場面 | アップ前のミーティング | フロアでのアップ | ハーフタイムのアップ | 試合前のアップ | 試合出場中(オンザコート) | 試合中(ベンチ) |
|-------|-------------|----------|------------|---------|---------------|----------|
| マスク着用 | 義務○ | 義務○ | 義務○ | 原則△ | なし× | 義務○ |

※試合中のベンチでは、息が整うまではマスクをせずに、離れたところで待機する。息が整い次第、マスクを着用し、ベンチに戻ることとする。

- 試合終了後は、すみやかに退場すること。スカウティングのため、チーム複数名での事前来場及び試合後の観戦は禁止とする。(目安は試合終了後 60 分以内。)
- スタンディングコーチおよびチームスタッフは、マスクを着用し、指示を出すこと。大きい声は出さないこと。
- ※マスクをずらして選手に話すケースが見受けられます。マスク着用の徹底をお願い致します。
- 登録外選手は保護者席前にて座って観戦すること。**

○観戦者

- 施設内で決められた動線にしたがって行動すること。**
- 施設内での飲食は、原則禁止とする。
- 決められた応援場所で、IDカードを着用して応援を行うこと。
- 観戦・応援中は、感染防止のため、次の行為を禁止する。
 - ・声を出しての応援、指笛 ・メガホンの使用 ・手拍子 ・ハイタッチ、肩組み
 - ・タオルマフラー、フラッグを振るもしくは回す ・太鼓などの鳴り物
- SNS等による動画配信は行わないこと。**
- 試合終了後は、本部へIDカードを返却し、速やかに退場すること。**
- 次の試合までの待機場所は施設内にはないため、試合後は必ず会場を後にすること。**
- 次の試合の時に会場に入る際も、同じ要領で動くこと。
- 会場のごみ箱を使用せず、ごみは持ち帰ること。
- 原則、選手との接触はできない。
- その他、感染防止策について、会場で定められた遵守事項や指示に従うこと。

5. 大会運営に関すること

- 会場に入場を認められた者にIDカードを発行する。
- 開会式は実施しない。
- 会場内の動線を分ける。
- 会場で入口等に消毒スプレーを設置する。

- 試合会場のベンチは、できるだけ2メートル（最低1メートル）空け、選手同士が十分間隔をとれるようにする。
- 大会期間中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
- 手洗い場に「手洗いは30秒以上」の掲示をする。
- 選手、引率者等および大会関係者が、こまめに手洗いを行えるよう、手洗い場に十分な量の石鹸等を設置するとともに、場内アナウンス等で手洗いを促す。
- 更衣室の使用は会場の指示に従うこと。更衣室使用時は密にならないように着替えること。
- 試合と試合の間に10席の消毒を行う。
- 試合が終わったチームは速やかに退場するよう場内アナウンスで促す。
- 表彰式は簡略化して行う。なお、閉会式は実施しない。
- 【別紙2】『監督・選手等の健康状態報告書』【別紙3】『大会役員等体調記録表』は、大会終了後1か月を目安に保管・管理し、その後適切に破棄する。

6. 大会実施の体調不良者発生時の対応について

○大会開催前の体調不良者・陽性者発生時の対応について

- 大会前に選手に発熱があった場合、必ず医療機関を受診してもらい、医師から出場の許可が出た場合、その選手の出場は可能である。許可が出なかった場合は出場不可となる。
- 大会前に陽性者が発覚した場合、他の選手への感染の広がりや発熱者・体調不良者の状況、また陽性者の練習参加状況や学校の感染状況を把握し、至急大会運営者に連絡する。大会運営者は該当のチームの状況を鑑み、大会参加の可否を決定する。

○大会期間中の体調不良者発生時の対応について

- 入場時、参加するチーム内に健康状態の異常、提出した【別紙2】『監督・選手等の健康状態報告書』の記載内容に体調不良等の記載および記載内容の不備等が認められた場合、チームの参加・入場を不可とする。
- チーム内において、体調不良者または症状が確認された場合は、速やかに本部に報告を行い、本部は関係機関等と協議を行い対応する。

○大会後の陽性者発生時の対応について

- 大会後に新型コロナウイルス感染症陽性となった場合には、大会運営者に連絡する。その後、上部機関に報告し、判断を仰ぐ。